

宇都宮共和大学 学生生活実態調査（卒業生対象）

【はじめに】

本学では、すべての学部において、年度末に卒業生対象の調査を行っている。いずれの調査も匿名で実施され、学生の自発的な協力によって回答を得ている。

当調査は、随時行われている学生生活実態調査の一部である。4年間を通じた総合評価について回答を得ることで、学生への教育・支援の在り方について把握することが可能となる。

本稿では、2024年度末と2025年度末に実施された調査データをもとに、本学の支援等についての継時変化や安定性に関する評価を行った。

人数と回答率は下表に示す通りであり、高い回答率を得た。

分析対象	シティライフ		子ども生活	
	2024年度	2025年度	2024年度	2025年度
人数	66	52	47	40
回収率(%)	94.3	98.1	92.1	97.6

以下では、全5問の共通設問について集計、分析する。いずれも割合データ(%)を用いた。

設問1	シティライフ		子ども生活	
	2024年度	2025年度	2024年度	2025年度
とてもよかった	28.8	40.4	51.1	57.5
よかった	47.0	42.3	38.3	30.0
どちらともいえない	21.2	17.3	10.6	10.0
よくなかった	3.0	0.0	0.0	0.0
まったくよくなかった	0.0	0.0	0.0	2.5

設問2	シティライフ		子ども生活	
	2024年度	2025年度	2024年度	2025年度
思ったよりよかった	47.0	59.6	61.7	62.5
だいたい予想通りだった	47.0	36.5	29.8	35.0
思ったよりわるかった	6.1	3.8	8.5	2.5

設問3	シティライフ		子ども生活	
	2024年度	2025年度	2024年度	2025年度
とても充実していた	28.8	44.2	53.2	57.5
充実していた	51.5	34.6	38.3	40.0
どちらともいえない	12.1	17.3	6.4	2.5
あまり充実していなかった	7.6	3.8	0.0	0.0
まったく充実していなかった	0.0	0.0	2.1	0.0

設問文

- 設問1:宇都宮共和大学(各学部)に入学して良かったと思いますか。
- 設問2:入学前に考えていた大学生活と現在の印象を比べるとどうですか。
- 設問3:あなたの学生生活は充実していましたか。

【設問 1】

シティライフ学部において、各学部に入學して「とてもよかった」「よかった」の合計は、2024 年度 75.8%，2025 年度 82.7%であった。微増とも言えるが、全体的に高い値で安定していると考えられる。

子ども生活学部において、入學して「とてもよかった」「よかった」の合計は、2024 年度 89.4%，2025 年度 87.5%であった。9 割近い学生が入學を肯定的に評価しており、本学への高い満足度が継続している。

【設問 2】

シティライフ学部において、各学部に入學して「思ったよりよかった」と回答した割合は、2024 年度 47.0%，2025 年度 59.6%であった。2025 年度では特に、卒業生の期待以上の教育を実施できたことが示唆された。

子ども生活学部では、入學して「思ったよりよかった」と回答した割合は、2024 年度 61.7%，2025 年度 62.5%であった。2025 年度は前年度をやや上回る結果となっており、肯定的な評価が安定して得られている。

【設問 3】

シティライフ学部において、大学生活が「とても充実していた」「充実していた」の合計は、2024 年度 80.3%，2025 年度 78.8%であった。全体的に高い値で安定していると考えられる。

子ども生活学部では、大学生活が「とても充実していた」「充実していた」の合計は、2024 年度 91.5%，2025 年度 97.5%であった。両年度とも 9 割以上の学生が大学生活を「充実していた」と評価しており、高い水準を維持している。

設問4 シティライフ	2024年度					2025年度				
	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大いに不満	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大いに不満
教授陣(先生方)	27.3	60.6	12.1	0.0	0.0	38.5	44.2	17.3	0.0	0.0
カリキュラム(科目配置)	18.2	60.6	19.7	1.5	0.0	30.8	48.1	19.2	1.9	0.0
授業内容	19.7	59.1	19.7	1.5	0.0	30.8	48.1	15.4	5.8	0.0
施設・設備	19.7	48.5	22.7	7.6	1.5	38.5	32.7	25.0	3.8	0.0
子ども生活	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大いに不満	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大いに不満
	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大いに不満	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大いに不満
教授陣(先生方)	42.6	51.1	6.4	0.0	0.0	50.0	45.0	5.0	0.0	0.0
カリキュラム(科目配置)	27.7	66.0	6.4	0.0	0.0	20.0	72.5	5.0	2.5	0.0
授業内容	25.5	66.0	8.5	0.0	0.0	22.5	65.0	10.0	2.5	0.0
施設・設備	14.9	40.4	27.7	2.1	0.0	12.5	55.0	20.0	12.5	0.0

設問文:大学のどの部分に満足していますか。

【設問 4】

大学が提供する各種サービスの満足度の回答について述べる。

シティライフ学部において、「大変満足」「満足」の合計は、年度で共通する結果が得られた。すなわち、施設・設備の満足度がやや低く、2024 年度では 68.2%，2025 年度では 71.2%であった。その他の項目では、両年度で 80%前後と高い満足度を得た。

子ども生活学部では、教授陣やカリキュラムへの満足度は高い水準を維持している。一方、施設・設備の「不満」は 2024 年度 2.1%から 2025 年度 12.5%へ増加しており、改善に向けた検討が必要である。

設問5	2024年度				2025年度			
	とても身についた	多少身についた	あまり変化しなかった	わからない	とても身についた	多少身についた	あまり変化しなかった	わからない
シティライフ								
コミュニケーション力	37.9	47.0	13.6	1.5	44.2	50.0	5.8	0.0
情報力	28.8	63.6	6.1	1.5	40.4	50.0	9.6	0.0
問題解決力	30.3	57.6	10.6	1.5	42.3	40.4	17.3	0.0
ネットワーク構築力	33.3	53.0	12.1	1.5	30.8	55.8	11.5	1.9
子ども生活								
子どもと共に生活を創る力	53.2	44.7	0.0	2.1	62.5	37.5	0.0	0.0
教育・保育・福祉の専門的な実践力	44.7	53.2	0.0	2.1	55.0	42.5	2.5	0.0
コミュニケーション力	44.7	36.2	4.3	0.0	70.0	27.5	2.5	0.0
ネットワーク構築力	23.4	68.1	2.1	6.4	25.0	62.5	12.5	0.0
問題解決力	40.4	55.3	4.3	0.0	35.0	57.5	7.5	0.0

設問文：(各学部)は、以下を教育目標として掲げています。それぞれについて、皆さんは在学中にどれだけ身についたかを自己評価してください

【設問 5】

大学の教育目標とする能力に関する定着度について述べる。

シティライフ学部における「とても身についた」「多少身についた」の合計は、年度ごとに項目間で共通した結果が得られた。2024 年度は、いずれの項目も 85%前後であった。2025 年度は、いずれの項目も 90%前後であった。2025 年度では、「とても身についた」の割合が 2024 年度より高い傾向があった。ただし、ネットワーク構築力は 2024 年度と同程度の高さであった。

子ども生活学部では全体的に各項目で「身についた」とする評価が多く、特にコミュニケーション力の「とても身についた」は 2024 年度 44.7%から 2025 年度 70.0%へ大きく上昇した。一方、ネットワーク構築力では「あまり変化しなかった」が 2024 年度 2.1%から 2025 年度 12.5%に増加しており、今後の改善が必要である。

【おわりに】

以上のように、本学卒業の際、多くの学生が高い満足度を報告している。また、そうした回答は、学部と年度を通じて一貫していることが示唆された。